

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板

敬称略

● 幻想と感激の竿燈まつり。夏の夜空を光が揺らめくこの感動は、見た人の感激がいつまでも胸に残る秋田のお祭りです

● 進藤キサ子 66歳・土崎 十一か月の娘を連れて、初めてパンダ広場に行ってきた。眠くてぐずっていた娘も、同年代のたくさんのお友だちに囲まれて、ニコニコ。

● 体を使った楽しい遊びをたくさん教えてもらって、娘も私もリフレッシュできました。もつと回数が増えればいいな。またぜひ参加したいです

● (村越美幸 34歳・御野場) この間、市役所にミッキーとミニーマウスがやってきたとき、私と娘もミッキーたちに会えました。まだ四か月の娘は、私がせっかくミッキーとミニーに声をかけてアピールし、頭をなでなでてもらえるようにしたのに、驚いて泣いてしまいました。でも、市長にはつべをさわられたときは、笑っていました。娘にとっては、ミッキーやミニーよりも市長の方が親しみがわ

● 震度六級の揺れが続いた宮城県地震で、松島や東北三大祭りの「仙台七夕まつり」の観光客にも影響があるのでと。仙台に転勤で数年住んだ私にも、他人事とは思えませんが、一日も早く復旧ができればと願っています(須田恵子 54歳・横森)

● 今朝もウォーキング。まわりの景色を見ながら田んぼは緑一面。足を止めてまわりを見ても稲穂はまだかな？今年は一週間くらいも遅れているとか。「よく育つんだよ」と秋の収穫を楽しみにして、これからの天候を期待し、ひとり言での散歩。

● 途中合う人たちや畑仕事のかたなどとお知り合いになり、お互い「おはよう」とのあいさつに、気持ちもリフレッシュし、毎日楽しんでいます(土谷穂子 58歳・飯島)

● 育児コーナーを特に楽しみ

●

●

地域のお話 おしえて!!

このコーナーでは、町内や地域のいろいろな話題を紹介していきます。耳よりなニュースがありましたら、広報課までお知らせください。
tel(866)2034 FAX(866)2287

川尻地域のおじさん、おばさんが遊びの先生に “ 児童館名人 ” 登場にみんなワクワク

7月26日、川尻児童館で「児童館名人」の発足式が行われました。これは、地域に住む“名人”が先生になって、子どもたちに昔遊びや将棋・囲碁などを教えるというもの。名人に名乗りを上げた31人は、隔月の第2土曜日に自慢の腕を披露する楽しいイベントを企画しています。

この日の出番は、読み聞かせ名人と工作名人。子どもたちは、絵

本の読み聞かせに真剣に耳を傾けたあと、紙てっぽうや竹を使った空気てっぽう作りに挑戦し、シンプルな遊びに大はしゃぎでした。

児童館運営委員長の上村敦さんは、「まずは、子どもたちに地域にどんな人が住んでいるのかを知ってもらうことが大切。こういった楽しいイベントを通し、学校外教育の拠点として地域に開かれた児童館づくりを進めていきます」

と話してくれました。



名人と一緒に空気てっぽう作り



おしゃべりかわらばん

忘れない 土崎空襲...

笑顔の絶えない生活を

土崎空襲の勉強をして、戦争の悲惨な光景を見たときは、鳥肌が立ってじっとしていただけませんでした。だから今は、いつまでも平和な笑顔の絶えない生活を送りたいです。



式典で平和のメッセージを発表した佐藤幸さん(土崎中2年)



セリオンで行われた土崎空襲パネル展に来ていた土門勇喜さん

平和の尊さを実感

空襲の写真を見て、昔を思い出し、戦争のつらさと平和の尊さの両方を今実感しています。生きているすばらしさは、なにごとにも代え難いですね。



8月3日、八橋陸上競技場で行われた、JFAキッズ(U-6)サッカーフェスティバル2003で

にしています。離乳食教室や各地のイベント情報などでも役立つと思います。妊婦健診が七回まで無料になったりと、秋田市の子育て支援は素晴らしいです。武藤洋子 31歳・泉今年も花火の季節がやってきました。庭先でやる線香花火から、大曲の競技会の花火まで。私はどの花火も大好きです。松本セチ 70歳・大住かんきよう宝物フォトコンテストは素敵な写真ばかりで、心が洗われるようでした。私もパチリと撮りたい気分になりました(ペンネームN 67歳・八橋)

係からひとこと

今年の夏は、キラキラの太陽が顔をみせず、夏が来た」と実感するには、ちよつと物足りない感じ。でも取材先で目にする子どもたちはみんな日焼けした顔で、元気いっぱい! 海や川や山を走り回り、自然を満喫していました。さて、短い夏も終盤の今日(二十一日、仁別に「まんたらめ」がオープンしました。昆虫観察、もの作り、天体観測など、太平山の大自然の中でいるんな体験ができるこの施設。来月まで市内の小・中学校の宿泊でスケジュールが一杯だそう。新たな自然学習の拠点から子どもたちの元気な声が聞こえてきそうですね。(石塚)



土崎地区の自主防災訓練を主催した越後屋満さん

煙が充満した室内を体験

火災時の室内の煙が充満した状態を再現した「煙中体験ハウス」での訓練は、煙で前が見えず、なかなか外へ脱出ができませんでした。実際の避難の難しさを、参加者全員が感じ取ることができ、充実した訓練となりました。

木柵は「ジュンコ」の名入り

木柵の加工で初めて“なた”を使って、とても手が疲れました。昔の人は木を石で削ったなんて、すごいなあ。自分の名前を彫った木柵がここにずっと残ると思うとうれしいです。復元体験があればまた参加してみたいな!



地蔵田遺跡の木柵復元体験に参加した佐々木順子さん(大住小学校6年)



懐メロを歌って老人ホームを慰問している加賀屋一敬さん(土崎)

歌で慰め、懐メロこそ命

懐メロを歌うのが好きで、ボランティアで老人ホームを慰問しています。懐メロ大好きな人が多いので、とてもやりがいがあります。自分の歌で、元気になる人がいるのはうれしいですね。(次回は9月11日、中央公民館で)

広報クイズ



竿燈まつりで

7月25日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が「ISO」14001、問2が「50」kgでした。

全問正解205通(応募総数205通)の中から、浅野良夫さん(飯島緑丘町)、板垣百合子さん(川元むつみ町)、加賀谷昭子さん(南通亀ノ町)、斎藤尚道さん(土崎港西四丁目)、澤木智子さん(手形山西町)、地主京子さん(御野場新町)、高田烈子さん(将軍野東二丁目)、橋富高子さん(新屋松美町)、土谷猛さん(飯島田尻堰越)、長谷川博さん(新屋朝日町)の10人のかたに図書券をお送りします。

8月の広報クイズは最終面です。よろしく!!

広報クイズの当選者は、毎回、市政記者室の記者のかたに厳正に抽選してもらっています(広報課)